平成２９年度　東大和市地域自立支援協議会
相談　部会　活動報告

１、平成２９年度の活動テーマ

（自立支援協議会の大テーマ「障害者の地域での共生生活を実現するために」を踏まえた小テーマ）
『やっぱり本人中心！！～か、どうかは支援者にかかっている！！！～』

２、活動実績

回目	日時	活動場所	内容	備考
1	4月10日（月） 13:30～15:30	CIL 東大和	・平成２９年度計画について ・ほっと支援センターと意見交換会について	
2	5月8日（月） 13:30～15:30	CIL 東大和	・事例学習（ウエルカム） ・福祉クロスロード	
3	6月１２日（月） 13:30～15:30	CIL 東大和	・ほっと支援センターと意見交換会 ・ケアマネットやまととの打合せ	
4	7月１０日（月） 13:30～15:30	CIL 東大和	・公開学習会について ・事例学習（は～とふる）	
5	8月　7日（月） 13:30～15:30	CIL 東大和	・事例学習（にじ） ・公開学習会について ・ケアマネットやまととの交流について（打合せ）	
6	9月１１日（月） 13:30～15:30	CIL 東大和	・事例学習（ＣＩＬ） ・公開学習会について ・ケアマネットやまととの交流について（打合せ）	
7	１０月１６日（月） 13:30～15:30	CIL 東大和	・公開学習会について	
8	１１月１３日（月） 13:30～15:30	CIL 東大和	・事例学習（イコール） ・公開学習会について（最終打合せ） ・ケアマネットやまととの交流について（打合せ）	
公開 学習会	11月25日（土） 13：30～16：00	東大和市総合福祉センターは～とふる	「脱保護者～親を辞めろとは言わないけれど～」 ・講演（岡部幸典先生） ・トークセッション（東大和市在住の保護者）	
9	１２月１１日（月） 13:30～15:30	CIL 東大和	・公開学習会振り返り ・地域課題の整理（65 歳問題）	
１０	1月１５日（月） 13:30～15:30	CIL 東大和	・地域課題の整理	
１１	2月5日（月） 15:00～17:00	CIL 東大和	・事例学習（やまとあけぼの） ・地域課題の整理 ・ケアマネットやまととの交流について（打合せ）	
１２	3月１２日（月） 13:30～15:30	CIL 東大和	・平成３０年度計画の検討	予定

３、活動の成果

（自立支援協議会の大テーマ「障害者の地域での共生生活を実現するために」に向けて）

◎地域課題の整理

定例会の事例学習や公開学習会等から出てきた地域課題について、別紙としてまとめている。

（別紙①『平成 29 年度地域課題について』参照）

◎公開学習会

毎月の事例学習の取り組みの中で、計画相談を受ける段階で見えてきたものとして、障害のある子を抱え込む親の課題が上がった。相談支援においては本人のニーズを反映させていく一方で親御さんの考えや意見・立場をないがしろにできない現実がある。親としては子どものことを考え、子供の将来のことを案じている。その点をどのように両立させていくかを改めて考えた。

子どもには子どもの人生があるように、親にも親の人生がある。親の人生を子の介護・支援に縛られることはないのではないか・・・そのようなジレンマの中、親自身の人生を考えるきっかけとして今年度は「親の人生（脱保護者）」をテーマに学習会を開催した。当日は障害のある子の親御さんから、ご自身が脱保護者を実現するために行ってきたこと、そのための考え方や実現のためのアドバイスをお話しいただいた。また東大和市内在住で障害を持つお子さんの親御さんにもゲストスピーカーとしてご参加いただき、ご自身の経験やこれからの思いについてお話しいただいた。

（別紙②『平成２９年度相談部会公開学習会まとめ』参照）

◎福祉クロスロード

５月の相談部会において「福祉クロスロード」を行った。「クロスロード」とは「岐路」や「分かれ道」のことを指すが、阪神大震災で災害対応に当たられた方のインタビューをもとに、どちらかを選ばなければならない場面で自ら考え、また他の人の意見を聞きみんなで考えるゲーム形式の防災教材として作られたのが「クロスロード」である。相談支援においては多様な考えを尊重し、その考え方を知っていく、受け入れることも重要なことである。その福祉版のクロスロードを使用し、参加した相談支援専門員同士でそれぞれの意見や価値観の共有を行っていった。ここでの活動は平成 29 年度の東大和市地域自立支援協議会・障害者相談員の公開研修会での実施を提案し、開催された。

◎「ケアマネットやまと」との交流

相談支援部会では毎年他市相談部会との交流を行い、情報交換などを行ってきた。

今年度はケアマネットやまと（東大和市指定居宅介護支援事業者連絡会）との交流を行った。ケアマネットやまとでは地域の障害関係者との連携を今年度のテーマにしており、今後介護保険において「共生型サービス」が位置付けられることを踏まえ、介護保険・障害福祉サービスの相互理解と顔の見える関係づくりを目指し、交流を行ってきた。

本人と親が高齢化し支援につながらないまま孤立してしまう「8050 問題」や「老障介護」など、障害者を取り巻く課題は本人だけでなく親世代にも渡っている。とりわけ介護に関する問題は早めに親の元に入っていく必要もあり、65 歳になっても自分らしく生活をしていくことが必要である。そのためには相談支援専門員も介護保険の理解や介護支援専門員との関係づくりが必要であり、今回の交流につながった。

具体的には平成 29 年７月に障害福祉サービスについての講演、９月に介護保険と障害福祉サービスの違いについてのグループワーク、11 月に介護保険と障害福祉サービスの利用についての事例検討を、ケアマネットやまとの定例会に参加してきた。交流の中で「65 歳問題」については障害福祉だけでなく介護保険でも深刻な課題であること、交流を通じて相互に相談しやすい場を共有していくことについて成果があった。

４、活動の反省点・次期への取り組み課題

相談部会は月１回の定例開催を実施しているが、相談支援事業所によっては複数の事業を行っているところもある。そのため毎月参加することが難しい事業所もあり、参加率が低い傾向になる。この点については相談支援事業所への参加要請を続けていきたい。

今年度は事例学習を多く行うことができなかった。計画相談の内容は事業所ごとに支援対象も異なっており、事例学習は他の相談支援事業所においてどのような事例を取り扱い、どのような支援を行っているのかを共有することで相談支援専門員の知識を深めることになる。また困難事例だけでなく成功事例（支援がうまく言った事例）の情報交換や基本情報のみで計画を作成する学習など、相談支援専門員の技術向上に向けた取り組みをしていきたい。

また公開学習会でも意見のあった「すぐに相談できる体制」「不安や愚痴を聞いて欲しい」と言ったことにどのように対応していくのか、親の困りごとを聞いていく体制づくりも課題である。そのほか相談部会として、東大和市で福祉に従事する人材を多く確保するため、また支援者として東大和市内の事業所に従事してもらえる人材を育てていく取り組みの提案を東大和市に積極的に行っていきたい。